

『小学音楽 音楽のおくりもの 3』評価計画

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
<導入> 「小さな世界」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	○			
	(2) 旋律の流れやその変化、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	○			
	(3) 歌詞の持つメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、パートナーソングに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
<スキルアップ> 「アラムサムサム」 (毎時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	○			
	(2) 旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	○			
	(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
<スキルアップ> <リズムなかま>で 楽しもう！ (毎時扱い)	(1) リズムの重なりの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせながら気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 リズムの重なりの特徴について、その生み出すよさや面白さなどに関わらせながら気付いている。			○	
	(2) リズムの重なりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える。	思考・判断・表現	【技-①】 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(3) リズム遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 リズムの重なりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えている。			○	
			【主-①】 リズム遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「春の小川」(共通教材) (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「春の小川」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	(2) 旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で「春の小川」を歌う技能を身に付けている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 「春の小川」の旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
		【主-①】 「春の小川」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
楽ふとドレミ (4時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
			主体的に学習に取り組む態度	ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けるとともに、ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	キラキラおひさま	○<楽ふのお話>のページで、音符や記号、五線などについて知り、「キラキラおひさま」を階名唱する。 ○「キラキラおひさま」を輪唱・輪奏する。	【技-①】 範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして「キラキラおひさま」を歌う技能を身に付けている。 【主-①】 ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
2	曲想と音階や歌詞との関わりに気付くとともに、旋律や音の重なり、音階が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ドレミの歌	○「ドレミの歌」の主旋律を歌詞唱する。 ○「ドレミの歌」を二部合唱する。	【知-①】 「ドレミの歌」の曲想と、音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【思-②】 「ドレミの歌」の旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		昌歌	樂器	づ楽	賞鑑
<にっぽんのうた みんなのうた> 「茶つみ」(共通教材) p.12～15 (2時間扱い・5月)	(1) 旋律のもつリズムの反復や、休符の効果、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「茶つみ」の旋律のもつリズムの反復や、休符の効果、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	(2) 旋律のもつリズムの反復を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、「茶つみ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 「茶つみ」の旋律のもつリズムの反復を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「茶つみ」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		昌歌	樂器	づ楽	賞鑑
<こんにちは リコーダー> p. 16～23 (2時間＋毎時・5～6月)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 リコーダーの音色と「シシシでおはなし」の演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
	(2) リコーダーの音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	【技-①】 音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴き音を合わせて「ゆかいなまきば」を演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。 【思-①】 リコーダーの音色、各曲の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いている。 【思-②】 リコーダーの音色、「にじ色の風船」の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		○

	(3) リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		
--	---	---------------	--	---	--	--

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		唱歌	楽器	指導賞鑑
歌声ひびかせて p. 24~25 (2時間扱い・7月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○		○
			呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
	(3) 旋律の特徴を生かした表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌声や合唱の響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の特徴を生かした表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		○

○=本評価規準例における中心的な項目

回数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けるとともに、旋律のもつリズムや流れ、歌声が生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	この山光る ◎ホルディリディア	○「この山光る」を、ふさわしい歌声を探して歌詞唱する。 ○「ホルディリディア」を、高音を歌う声に注目して聴く。 ○「この山光る」の旋律の特徴について考え、生かして歌う。	【知-①】 「この山光る」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主-①】 旋律の特徴を生かした歌唱表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「この山光る」の旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 呼吸及び発音の仕方に気を付け、「この山光る」を自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	昌歌	楽器	づ楽	賞鑑
＜音のスケッチ＞ いろいろな声で 表げんして遊ぼう p. 26～27 (3時間扱い・7月)	(1) いろいろな声の出し方、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に声の出し方を選択したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けたりする。	知識・技能 【知-①】 いろいろな声の出し方、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
		【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に声の出し方を選択したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けたりしている。			○	
	(2) 声の音色や高さ、強弱、長さなどを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現 【思-①】 声の音色や高さ、強弱、長さなどを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。			○	
		主体的に学習に取り組む態度 【主-①】 いろいろな声の出し方を試し、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づ音楽	鑑賞
＜にっぽんのうた みんなのうた＞ 「うさぎ」(共通教材) p. 28～29 (1時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能 【知-①】 「うさぎ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
		【技-①】 呼吸や発音の仕方に気を付けて、「うさぎ」を自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現 【思-①】 「うさぎ」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
		主体的に学習に取り組む態度 【主-①】 季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。日本のうたに親しむ。	○			

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
<めざせ 楽き名人> 「かえり道」 「レッツゴー ソーレー」 p. 30～31 (毎時扱い・9月～)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 リコーダーの音色と「かえり道」の演奏の仕方との関わりに気付く。 【技-①】 互いの音を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。 【技-②】 互いの音や伴奏を聴きながら「レッツゴー ソーレー」を演奏する技能を身に付ける。		○		
	(2) 音色や旋律、伴奏の速度やリズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たりする。	思考・判断・表現	【思-①】 音色や「レッツゴー ソーレー」の旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	(3) リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーや二重奏・二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
せんりつの流れとへん化 p. 32～35 (3時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音色、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンやチェロの演奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

の回数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と、旋律や音色との関わりに気付くとともに、楽器の音色、旋律の反復と変化が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎ユモレスク ◎白鳥	○「ユモレスク」の旋律の変化や再現に気を付けて、体を動かしながら聴く。 ○「ユモレスク」の曲全体を味わって聴く。 ○「白鳥」を全曲通して体を動かしながら聴く。 ○「白鳥」の曲全体を味わって聴く。	<p>【主-①】 バイオリンの音色、「ユモレスク」の旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p> <p>【思-①】 バイオリンの音色、「ユモレスク」の旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>【知-①】 「白鳥」の曲想と旋律やチェロの音色など音楽の構造との関わりに気付いている。</p> <p>【思-②】 チェロの音色、「白鳥」の旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p>

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞	
遊び歌めぐり p. 36~39 (4時間扱い・10月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、拍に合わせて歌ったり手合わせしたりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			拍に合わせて歌ったり手合わせしたりする技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見い出して聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見い出して聴いたりしている。	○			○
	(3) 日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な遊び歌に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	拍に合わせて歌ったり手合わせしたりする技能を身に付けるとともに、旋律やリズム、拍やその流れ、速度が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲のよさを見いだして聴く。	◎日本や世界の子どもの歌 十五夜さんのもちつき 陽気なかじや	○「十五夜さんのもちつき」と「キパーキ・パパーキ」を聴き、「十五夜さんのもちつき」を手合わせして遊ぶ。 ○「あつい豆がゆ」「半月」「陽気なかじや」を聴き、それぞれの違いを感じ取る。 ○「陽気なかじや」を手合わせして遊ぶ。 ○「日本や世界の子どもの歌」を聴き、それぞれの曲の共通点や違いを感じ取る。	【知-①】 「十五夜さんのもちつき」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-①】 拍に合わせて「陽気なかじや」を歌ったり手合わせしたりする技能を身に付けている。 【思-①】 「陽気なかじや」や他の曲の旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。

3年 p.40~43

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌 唱	器 楽	づ 音 楽 く り	鑑 賞	
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「ふじ山」(共通教材) (2時間扱い・10~11月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「ふじ山」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【技-①】 呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、「ふじ山」を自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律のもつリズムや流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「ふじ山」の旋律のもつリズムや流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「ふじ山」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
曲に合った歌い方 (4時間扱い・11~12月)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) フレーズの反復や変化、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	フレーズの反復や変化、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、5音をもとにした旋律や輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想とフレーズや歌詞との関わりに気付くとともに、声を合わせて歌う技能や、互いの音を聴きながら楽器を演奏する技能を身に付ける。	森の子もり歌	○「森の子もり歌」の曲想を感じ取り、旋律の特徴を捉え、歌詞の表わす情景を思い浮かべて歌う。 ○「森の子もり歌」を合唱奏する。	【知-①】 「森の子もり歌」の曲想と、フレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、「森の子もり歌」を声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。
2	フレーズの反復や変化、音の重なりが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	雪のおどり	○「雪のおどり」を、言葉の響きや反復の面白さを感じながら輪唱する。 ○「雪のおどり」を伴奏と合わせて輪唱する。	【思-①】 「雪のおどり」のフレーズの反復や変化、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【主-①】 「雪のおどり」の曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		唱歌	楽器	づ楽賞鑑
＜音のスケッチ＞ チャチャチャのリズムで遊ぼう p. 48～49 (3時間・12月)	(1) ラテンのリズムの特徴や、その反復・重なりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 ラテンのリズムの特徴や、その反復・重なりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。			○
			【技-①】 音楽の仕組みを用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付けている。			○
	(2) リズムの反復や重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 リズムの反復や重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○
	(3) ラテンのリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ラテン音楽やリズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 ラテンのリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		唱歌	楽器	づ楽賞鑑
アンサンブルの楽しさ p. 50～51 (3時間扱い・1月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。	○		
			互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○	
	(2) 旋律やその関わり合い、リズム、楽器の音色や全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさや面白さを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律やその関わり合い、リズム、楽器の音色や全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさや面白さを見いだして聴いたりしている。	○	○	○
(3) 曲想や各声部の役割を捉えた表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、アメリカ民謡や合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想や各声部の役割を捉えた表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と声部の役割との関わり に気付くとともに、音を合わせ て演奏する技能を身に付ける。	せいじゃの行進 ◎せいじゃの行進	○鑑賞曲「せいじゃの行進」を体を動かしながら、楽器の音やリズムに注意して聴く。 ○「せいじゃの行進」の主旋律と副旋律のパートを楽器で演奏する。 ○「せいじゃの行進」を、パートの関わり合いや役割に気付いて合奏する。	【思-①】 鑑賞曲「せいじゃの行進」の旋律やその関わり合い、リズム、楽器の音色や全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさや面白さを見いだして聴いている。 【技-①】 互いの楽器の音を聴き、「せいじゃの行進」を音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【知-①】 「せいじゃの行進」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わり気付いている。 【主-①】 「せいじゃの行進」の曲想や各声部の役割を捉えた表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

3年 p.52～53

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌	器	づ	鑑
			唱	楽	音	賞
					楽	
〈めざせ 楽き名人〉 「あくびの歌」 「冬さん、さようなら」 (毎時扱い)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わり に気付くとともに、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 リコーダーの音色と「かえり道」の演奏の仕方との関わり に気付いている。		○	
			【技-①】 音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○	
	(2) リコーダーの音色、旋律の流れ、かけ合いや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 リコーダーの音色、「冬さん、さようなら」の旋律の流れ、かけ合いや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○	
(3) リコーダーの響きや声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーや二重奏・二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 リコーダーの響きや声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ききどころを見つけて p. 54～55 (3時間扱い・2月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎組曲「アルルの女」から	<ul style="list-style-type: none"> ○「アルルの女」から「メヌエット」を、楽器の音色や関わり合い、旋律の変化に気付いて聴く。 ○「メヌエット」のよいところを捉えて聴く。 ○「ファランドール」のよいところを捉え、曲全体を味わって聴く。 	<p>【主-①】 「メヌエット」に登場する楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p> <p>【知-①】 「メヌエット」の曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。</p> <p>【思-①】 楽器の音色、「ファランドール」の旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p>

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
みんなで合わせて p. 56～57 (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌の表す物語や合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かしながら音楽活動を楽しむ。	パフ	<ul style="list-style-type: none"> ○「パフ」を情景や気持ちを想像しながら歌詞唱する。 ○グループに分かれ、担当するパートを決めて練習する。 ○グループごとに発表し、聴き合う。 ○グループごとにリレー演奏する。 	<p>【知-①】 「パフ」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。</p> <p>【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて「パフ」を演奏する技能を身に付けている。</p> <p>【思-①】 「パフ」の旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【主-①】 音を合わせて「パフ」を演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞	
<音のスケッチ> 音のひびきや 組み合わせを楽しもう p. 58～59 (2時間扱い・3月)	(1) いろいろな打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能			○		
	(2) 打楽器の音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	【知-①】 いろいろな打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	(3) 打楽器の音の響きや組み合わせを楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組み、いろいろな打楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【思-①】 打楽器の音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。 【主-①】 打楽器の音の響きや組み合わせを楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組もうとしている。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞	
<物語の音楽を楽しもう> 「ピーターとおおかみ」 p.58～59 (2時間扱い・随時)	(1) 曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	知識				○	
	(2) 楽器の音色、旋律の特徴、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	【知-①】 各キャラクターのテーマの曲想と、音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 各楽器の音色、「ピーターとおおかみ」の各旋律の特徴、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 各キャラクターの表現や、物語の音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、物語の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 各キャラクターの表現や、物語の音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目